

## ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ      2 オンデマンド
※配信日時 (ライブの場合)	
科目名	創薬7 膜輸送タンパク質をターゲットとする創薬
担当教員	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬物生理学研究室 教授 酒井 秀紀 氏
授業の内容	<p>細胞に普遍的に存在する受容体、酵素、膜輸送タンパク質は創薬のターゲットとして重要であり、これらを標的とする医薬品が、これまでに数多く生み出されてきている。このうち、膜輸送タンパク質には、ポンプ、トランスポーター、チャネルなどが含まれるが、いずれも細胞膜を貫通しており、細胞膜を介して物質やイオンの輸送を行っている。</p> <p>膜輸送タンパク質を標的とする医薬品は、選択性や薬効に優れたものが多い。しかし、一般的に、膜輸送タンパク質は、受容体や酵素に比べて創薬の開発が難しいとされる。その理由は何か？</p> <p>本講義では膜輸送タンパク質の生理機能について概説するとともに、その創薬に向けた様々な研究技術について述べる。特に消化性潰瘍治療薬については、臨床で使用されている医薬品を例にとり、詳しく解説する。</p>
学生の到達目標	<p>1. 生体内における膜輸送タンパク質の役割について理解できる。</p> <p>2. 膜輸送タンパク質を標的とする創薬技術について理解できる。</p> <p>膜輸送タンパク質を標的とする医薬品について説明できる。</p>
キーワード	創薬、医薬品、細胞、膜輸送タンパク質、イオン輸送、受容体、酵素
その他、受講上の注意事項や学習上の助言など	